



平成21年2月12日

各 位

共同コンピュータホールディングス株式会社

代表取締役社長 吉村 昭一

(コード番号 9685)

問い合わせ先

専務取締役 相原 能文

(TEL : 0776-34-3512)

平成21年3月期通期(連結)業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年11月6日付当社「平成21年3月期第2四半期累計期間(連結)業績予想ならびに通期(連結)業績予想の修正と平成21年3月期第2四半期累計期間(単独)業績見込との差異に関するお知らせ」にて発表いたしました通期(連結)業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成21年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	3,650	170	160	100	19円36銭
今回修正 (B)	3,450	130	120	50	9円77銭
増減額 (B-A)	△ 200	△ 40	△ 40	△ 50	—
増減率	△5.5%	△23.5%	△25.0%	△50.0%	—

(2) 修正の理由

通期の見通しにつきましては、昨年からの金融資本市場の混乱により予想され実体経済に影響を及ぼしております。また、欧米経済の急激な悪化、円高、株安、雇用関係の悪化や個人消費の低迷などを要因として企業収益は大幅に減少してきており、今後も極めて厳しい景気後退が続くものと思われまます。このような事業環境下で、企業のIT投資の抑制(投資計画縮小や延期など)はさらに厳しい状況が続くことが予想され、当社グループの受注、売上にも影響がでてきております。

通期の売上高につきましては、昨年11月に予想しました以上に第3四半期会計期間における売上高が減少し、企業のIT投資の抑制により第4四半期以降の受注、売上にも第3四半期以上の減少も予想され、前回予想より2億円の減少となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましても、売上高の減少やシステムエンジニアの稼働率の悪化などにより、営業利益及び経常利益は4千万円の減少となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記理由による減少や当第3四半期連結会計期間に新たに1千万円の投資有価証券評価損が発生したことなどにより5千万円(前回予想より5千万円の減少)となる見込みであります。

(3) ご参考 : 前期の実績(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通 期	3,697	185	180	327

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。